

# 企業訪問 資源循環レポート



岡崎技研(株)  
ホームページへの  
2次元コード

## いのちの水を資源循環 工業排水を清らかに 精度の高い技術を継承



同社の取組について話される天野社長

### ■事業概要

昭和48年産業機械・公害防止装置の製造及び販売を目的として岡崎技研株式会社を設立。

平成14年岡崎市と「環境の保全に関する協定」を締結し、岡崎市の産業廃棄物処分業（中間処分：脱水、中和、油水分離）、特別管理産業廃棄物処分業（中間処分：還元、凝集沈殿、中和）の許可を取得。

許可品目は、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ。特別管理産業廃棄物は、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、特定有害廃酸（Cr6+・Pb）、特定有害廃アルカリ（Cr6+・Pb）です。

これまでに、愛知県（昭和50年）、岐阜県（平成3年）、三重県（平成12年）、滋賀県（令和2年）、京都府及び京都市（令和4年）、静岡県（令和4年）の産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業の許可を取得。

令和5年取締役会長に前代表取締役の天野邦彦氏が就任され、代表取締役に天野晃明氏が就任。

同社は、工場から排出される工業排水から有害物質を除去し、再生可能な資源へリサイクルする事業を展開しており、今号では昨年代表取締役になられた天野晃明氏にお話しを伺いました。

### ■収集・運搬・処理までを

廃棄物ごとの専門的な知識を持ったスタッフが徹底した安全管理のもと、工場や事業所から排出された廃棄物を自社のプラントへ収集・運搬します。同

産業廃棄物収集運搬・中間処理  
**岡崎技研株式会社**



岡崎技研株式会社

■代表者／代表取締役 天野 晃明

■所在地／愛知県岡崎市大樹寺一丁目12番地3

TEL 0564-87-3922 FAX 0564-87-3920

社では小ロットでの対応もされるため4t車の稼働も多いとのこと。

処理については事前に排出予定の廃液を直接サンプリングさせていただき、提出されたSDS（Safety Data Sheet）を確認します。

搬入された廃液は受入れ分析を経た後、岡崎市との協定に基づいた水質基準を満たすまで自社で対応しています。

廃液中にはお客様が認識していない添加物等もあり、定石の水処理工程を阻害する要因になる場合があります。

また、製品を薬品に漬け込んだ際にイオン化された金属等が廃液中に蓄積したものが「汚れ」となるわけですが、同じお取引様の廃液でも薬品を使用した回数の違い等で処理する薬液の使用量等が大幅に変わってくる場合があります。これらを見極めるのは非常に困難ですが、イレギュラーな対応でも知恵を絞りなんとかお客様のご希望に添う形に整えられるのが強みでもあります。

## ■廃液処理フロー

事例として廃液を以下の3つに分けます。

- ①有害物質が含まれず、低COD
- ②有害物質が含まれず、高COD
- ③有害物質が含有

処理工程は廃液の種類により異なりますが、どれも始めに廃液中の夾雑物を除去した後に処理工程へ移ります。

有害物質が含まれない低COD廃液と高COD廃液の処理工程の違いは、フィルタープレスにて脱水した処理水に対して蒸留措置を施すか否かによります。

有害物質が含まれる廃液の場合は、当該有害物質を不溶化したのちに通常の水処理工程を行います。

工程を経た処理水は放流前検査の後に放流され処理完了となります。

なお、脱水汚泥はお客様の要望によりリサイクルか埋め立てを選択していただいております。

※実際の処理工程を割愛して表記している箇所もありますので、詳しくは同社へお尋ねください。

## ■唯一無二

天野社長は「うちの強みは少量の排出でも迅速に対応できるフットワークの軽さと、比較的高いCODの廃液や処理に通常より多く工程を踏む廃液でも、許可範囲内であればおおよそ対応できる柔軟性です。

愛知県は産業県であることから下請工場さんが多数操業されており、処理に困られたケースを含め多くの問い合わせやご相談をいただいております。

弊社も小規模の事業者であるため、残念ながら営業マンは私のみですが、電話をいただければすぐにでもお伺いし、お困りのお客様の不安を一刻も早く和らげるよう心がけています。」と語られました。

現会長が創業時より廃液の分析及び処理に注力し、過去事例が少ない時代より専門書を紐解き、尚且つ専門分野の先生方へご相談に伺い、着実に技術を磨いてきた同社。

地域を活性化する産業から排出される廃液が、地域の生活環境に影響を及ぼすことが無いよう、産廃処理業者にしかできない技で微力ながら近隣の産業を支え続けていきたい、と社業に邁進する思いは絶えることがないそうです。



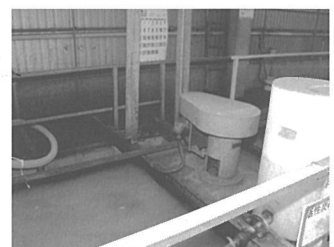
事務所内の様子



収集・運搬の車両



蒸留された処理水



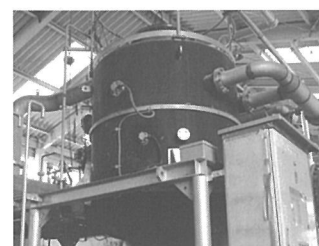
最終工程



中和処理の設備



フィルタープレス後の汚泥



減圧蒸留器



最終の上澄みの貯留タンク